

2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月15日

株式会社テイツー 上場会社名

上場取引所 URL https://www.tay2.co.jp

コード番号 7610

表 者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤原 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼社長室長

(氏名) 近藤 武男 (TEL) 048-933-3070

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 :有 決算説明会開催の有無 :有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日~2025年5月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	8, 561	3. 1	221	99. 4	199	52. 9	91	43. 4
2025年2月期第1四半期	8, 301	△0.7	111	△76.3	130	△75.0	63	△76.6
(注) 与红虹 + 0000 左 0 日	#0 <i>55</i> 5 4 mm 1/ #0	00	-m/ F0 10	()	たっ ロ #0 #5 4	mm 117 ###		A 70 00()

(注)包括利益 2026年2月期第1四半期 88百万円(53.1%) 2025年2月期第1四半期 58百万円(△78.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2026年2月期第1四半期	1. 44	_
2025年2月期第1四半期	1. 01	_

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	13, 878	5, 994	43. 2
2025年2月期	13, 380	6, 147	45. 9
(参考) 自己資本 2026年 2	月期第1四半期 5,9	94百万円 2025年	2月期 6,147百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2025年2月期	_	0.00	_	4. 00	4. 00			
2026年2月期	_							
2026年2月期(予想)		0.00	_	4. 00	4. 00			

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業	利益	経常	利益	親会社株 する当期	主に帰属 月純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40, 000	9. 7	1, 100	20. 6	1, 100	19. 6	700	39. 6	11. 08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年2月期1Q	68, 664, 338株	2025年2月期	68, 664, 338株
2026年2月期1Q	5, 164, 033株	2025年2月期	5, 283, 063株
2026年2月期1Q	63, 396, 542株	2025年2月期1Q	63, 037, 051株

(注)期末自己株式数には、従業員持株会支援信託ESOPが保有している当社株式(2025年2月期708,400株、2026年2月期1Q584,500株)を含めております。また、当該信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無 監査法人によるレビュー
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業 績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報2
	(1)経営成績に関する説明
	(2) 財政状態に関する説明
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記4
	(1) 四半期連結貸借対照表4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
	四半期連結損益計算書
	第1四半期連結累計期間6
	四半期連結包括利益計算書
	第 1 四半期連結累計期間
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項8
	(継続企業の前提に関する注記)8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)8
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)8
	(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)9
	(セグメント情報等)9
	(収益認識関係)9
	(重要な後発事象)9
3.	その他

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の増加傾向やインバウンド需要の拡大を背景に、経済活動の緩やかな回復がみられました。一方で、不安定な国際情勢や、円安による原材料価格・エネルギー価格、物価の上昇など、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

当社が属するリユース業界においては、SDGs推進の動きとそれに伴うリユースへの意識の向上、物価上昇の影響を受けてリユース品の需要が増加していることなどを背景に、堅調に市場全体が拡大しております。

このような経営環境における、当第1四半期連結累計期間の主要取扱商材の動向は、以下のとおりです。

中古分類の売上では、トレーディングカード(以下「トレカ」という。)、ホビーが好調に推移した結果、中古分類全体の売上高は前年同期を上回りました。新品分類の売上では、ホビーが好調に推移した一方で、新型ゲームハード発売前の買い控え等による影響でゲームが対前年比で下回り、新品分類全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の概況により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高85億6千1百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益2億2千1百万円(前年同期比99.4%増)、経常利益1億9千9百万円(前年同期比52.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9千1百万円(前年同期比43.4%増)となり、出店等の投資や諸費用高騰により販管費が増加傾向にある中でコスト低減を図り、売上、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

(事業の概況)

当社グループは、グループ経営理念「満足を創る」に基づき、「リユースで地域と世界をつなぐ」をグループビジョンとして掲げ、様々な施策に着手しております。グループビジョン実現に向けて、2025年4月14日に公表した「2025年度テイツーグループ成長戦略」の方針に基づき、「リユースを拡大する、EC領域に注力する、経営基盤を強化する」の 3 点を経営方針とし、当社が取り組む事業領域を、リユース店舗領域、リユースEC領域、リユースBt o B領域、グローバル領域、IPビジネス領域の 5 領域と識別し、その他分野も含めて以下のような取り組みを実行いたしました。

①リユース店舗領域

新規出店につきましては、当第1四半期連結累計期間において「ふるいち」店舗を3店舗オープンいたしました(3月イオンモール伊丹店・イオンモール甲府昭和店、4月イオンモール津南店)。集客力が極めて高く、初期出店コストが低いモール出店を展開することにより、既存のロードサイド店舗でご支持いただいているお客様とのコミュニティをさらに拡大いたします。また、業務提携先との提携の深化を図り、業務提携契約に基づいた継続的な支援を基に、取扱商材を多様化する取り組みを推進いたします。

②リユースEC領域

資本業務提携先である株式会社TORICO(以下、「TORICO社」という。)との間で協業を推進し、各種連携・体制を構築しております。当社の自社ECサイト「ふるいちオンライン」について、同社との業務提携シナジーを有効活用したコスト構造見直しを進める等、EC部門単体の利益及び管理面に寄与する枠組の構築に取り組んでおります。

加えて、EC領域の一翼を担う、当社グループの株式会社山徳では、2025年1月に倉庫機能を備えた自社所有の新社屋が竣工いたしました。こちらは2025年2月より業務を開始しており、今期以降の更なる業容の拡張を見込んでおります。

各社の強みを活かした商品政策やコミュニティの融合等、事業連携の強化を通じて相互にシナジーを発揮し、さらなる収益力向上を図ってまいります。

③リユースB t o B領域

トレカ読取査定機のTAYS (テイズ) やトレカ自販機の外販について、前年度のTAYSの特許取得により同 ツールへの信頼性が高まったことで営業活動を活性化させ、堅調に拡販を展開しております。また、販売を支援す るシステムとして開発を進めてきたトレカ在庫検索機の運用を直営店にて段階的に開始しております。

B t o B戦略のもと、拡販等でつながった取引先を全国に広げる活動が、最終的に会社のブランド信用力を支え、将来的な中核事業の成長に寄与すると考え、引き続きエリア拡大政策に注力してまいります。

④グローバル領域

TORICO社と業務提携を通じた取組みとして、2025年7月に台湾台北市において、初めての共同店舗「ふるいち×マンガ展」を出店する運びとなりました。日本全国にエンタメ・ホビー専門店「ふるいち」「古本市場」などを展開する当社と、国内外でマンガ・アニメ関連グッズを企画・販売するTORICO社が、それぞれの強みを活かした共同事業として、本店舗では、人気作品のグッズ販売、限定アイテム、イベント連動展示、コラボ企画等を予定しており、台湾のマンガ・アニメ・ホビーファンに向けて、新たなカルチャーを提供できる拠点となることを目指してまいります。

⑤ I Pビジネス領域

当社のビジネスモデルと高いシナジーを持つ、出版物等の知的財産権を活用したIPビジネス商品の取り扱いに継続して取り組んでおります。IPを活用したオリジナル商品企画等により、関連する企業との連携を強化・推進しております。

⑥その他の主要な取組事項

「テイツーグループSDGs宣言」に基づき、「地域活性化」「地方創生」への様々な働きかけを行っております。子どもの未来を応援する活動として、地域イベントへの出展や、当社の余剰品を活用した「おもちゃ市」を開催する等のほか、2024年8月にスポンサー契約を締結した、岡山県を拠点としているeスポーツチーム「SETOUCHI SPARKS」の活動支援及びe‐スポーツの普及活動を通じて、不登校の子ども達や障がいのある人の活躍の場の創出、高齢者の健康増進等、より広範な人々の社会的な包摂を促進しております。

本年度からは、これまでの実績をもとに当該グループビジョンを広範に捉えて進化させた『リユースで地域と世界をつなぐ~360度リユース~』を提唱しております。「360度リユース」とは、当社グループがリユース品を取り扱う事業活動にとどまらず、当社グループが関わる地方創生活動(まちづくり・地域ブランディング・関連する企業/団体の再生)を通じて関わるすべてのステークホルダーに「満足」を届けることを目指す全方位的な戦略です。事業活動を通じて、会社活動と社会活動がシンクロする未来を引き続き創造してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は138億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億9千8百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が減少した一方で商品及び有形固定資産が増加したこと等によるものです。負債合計は78億8千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億5千万円増加いたしました。これは長期借入金が減少した一方で短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金を増加させたことによるものです。純資産は59億9千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億5千2百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当により利益剰余金が減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月14日に「2025年2月期決算短信(連結)」にて公表いたしました通期の業績見通しに変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間
	(2025年2月28日)	(2025年5月31日)
産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 896, 446	2, 230, 53
売掛金	918, 262	746, 67
商品	4, 931, 067	5, 450, 84
貯蔵品	24, 963	35, 97
その他	521, 320	691, 96
流動資産合計	9, 292, 060	9, 155, 99
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	563, 990	1, 700, 40
その他 (純額)	1, 207, 503	694, 22
有形固定資産合計	1, 771, 494	2, 394, 62
無形固定資産		
のれん	20, 292	10, 14
その他	213, 820	225, 84
無形固定資産合計	234, 112	235, 98
投資その他の資産		
差入保証金	1, 155, 923	1, 193, 97
その他	927, 183	898, 24
投資その他の資産合計	2, 083, 107	2, 092, 21
固定資産合計	4, 088, 714	4, 722, 82
資産合計	13, 380, 775	13, 878, 81
賃の部		
流動負債		
買掛金	1, 146, 533	840, 82
短期借入金	2, 000, 000	2, 900, 00
1年内返済予定の長期借入金	335, 441	818, 76
未払法人税等	41, 697	78, 62
賞与引当金	64, 046	23, 40
ポイント引当金	81, 845	75, 19
契約負債	143, 742	148, 06
株主優待引当金	26, 285	26, 28
資産除去債務	2, 999	-
その他	888, 918	908, 57
流動負債合計	4, 731, 510	5, 819, 73
固定負債		
社債	200, 000	200,00
長期借入金	1, 185, 567	612, 17
退職給付に係る負債	270, 205	269, 94
資産除去債務	721, 593	834, 65
その他	124, 700	147, 96
固定負債合計	2, 502, 066	2, 064, 73
負債合計	7, 233, 577	7, 884, 47

(単位:千円)

		(井区・111)
	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100, 000
資本剰余金	2, 696, 762	2, 700, 881
利益剰余金	3, 829, 478	3, 664, 300
自己株式	△537, 268	△526, 755
株主資本合計	6, 088, 971	5, 938, 426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13, 926	14, 040
退職給付に係る調整累計額	44, 299	41, 877
その他の包括利益累計額合計	58, 226	55, 917
純資産合計	6, 147, 197	5, 994, 344
負債純資産合計	13, 380, 775	13, 878, 819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日
	至 2024年5月31日	至 2025年5月31日)
売上高	8, 301, 090	8, 561, 037
売上原価	5, 439, 642	5, 332, 441
売上総利益	2, 861, 447	3, 228, 595
販売費及び一般管理費	2, 750, 339	3, 007, 099
営業利益	111, 108	221, 495
営業外収益		
受取利息	405	715
受取賃貸料	12, 459	12, 459
持分法による投資利益	12, 930	_
その他	9, 601	9, 538
営業外収益合計	35, 396	22, 713
営業外費用		
支払利息	5, 932	9, 616
不動産賃貸費用	10, 167	10, 120
持分法による投資損失	_	24, 711
その他	38	390
営業外費用合計	16, 137	44, 838
経常利益	130, 366	199, 370
特別利益		
固定資産売却益	<u> </u>	68
特別利益合計	<u> </u>	68
特別損失		
固定資産除却損	2, 506	258
特別損失合計	2, 506	258
税金等調整前四半期純利益	127, 860	199, 179
法人税等	64, 292	107, 999
四半期純利益	63, 568	91, 180
親会社株主に帰属する四半期純利益	63, 568	91, 180

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	63, 568	91, 180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4, 812	166
退職給付に係る調整額	△701	$\triangle 2$, 422
持分法適用会社に対する持分相当額	<u> </u>	△52
その他の包括利益合計	 △5, 514	△2, 308
四半期包括利益	58, 054	88, 872
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58, 054	88, 872
非支配株主に係る四半期包括利益		<u> </u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年4月15日 取締役会	普通株式	256, 575	4.0	2024年2月29日	2024年5月16日	利益剰余金

- (注) 配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金4,489千円が含まれております。
- (2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(3) 株主資本の金額の著しい変動 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年4月14日 取締役会	普通株式	256, 358	4. 0	2025年2月28日	2025年5月15日	利益剰余金

- (注) 配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金2,833千円が含まれております。
- (2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(3) 株主資本の金額の著しい変動 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適 用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	85, 560千円	101, 265千円
のれんの償却額	10, 146	10, 146

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
中古品		
本	651, 763	621, 947
ゲーム	1, 505, 102	1, 543, 696
トレカ	1, 512, 740	1, 893, 892
ホビー	268, 629	341, 957
その他	499, 520	473, 320
中古品計	4, 437, 757	4, 874, 814
新品		
本	5, 322	4, 822
ゲーム	1, 415, 444	1, 168, 348
トレカ	1, 922, 128	1, 907, 589
ホビー	361, 461	453, 990
その他	48, 142	42, 673
新品計	3, 752, 499	3, 577, 424
その他	89, 990	97, 431
顧客との契約から生じる収益	8, 280, 247	8, 549, 670
その他の収益	20, 843	11, 367
外部顧客への売上高	8, 301, 090	8, 561, 037

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。